

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 教授	氏名 藤原 彰子	大学院における研究 指導担当資格の有無	無		
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
教育方法の実践例	平成31年4月～	特別支援教育関連の授業において, 学校見学や教材・教具の作成の他, 学生と児童生徒の手紙のやり取りやオンライン等での交流, 特別支援学校の教員や保護者を招いて学生が直接話を聞く機会を設ける等, 実践的, 具体的に分かりやすい授業を工夫している。				
2 作成した教科書、教材、参考書						
特別支援学校 学習指導案の作成について	令和2年度～	特別支援学校で教育実習を行う学生が作成し実践する「学習指導案」の書き方について, 分かりやすく解説したマニュアルを作成した。				
インターンシップC 実習ノート	令和2年度～	特別支援学校でインターンシップを行う学生が円滑に実習を進めるため, 実習マニュアル及び活動記録の改訂を行った。				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
教育学部教育出前講座 (河内長野市立東中学校)	令和3年8月	教員研修「障がいの状況に応じた支援の工夫」(ユニバーサルデザイン) 講義・グループワーク				
教育学部教育出前講座 (泉南市立西信達中学校)	令和3年8月	教員研修「障がいの状況に応じた支援の工夫」(ユニバーサルデザイン) 講義・グループワーク				
教育学部教育出前講座 (貝塚市立東小学校)	令和3年8月	教員研修「障がいの状況に応じた支援の工夫」(ユニバーサルデザイン) 講義・グループワーク				
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
特別支援教育の工夫と実践—インクルーシブ教育システムの推進のために—	藤原彰子 / 後上鐵夫, 小林倫代	70頁～82頁	ジアース教育新社	東京	令和元年8月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
資料論文	知的障害のある児童生徒のための社会に開かれた教育課程—学校卒業後の生活に生きて働く学習内容の検討—	単 藤原彰子	大阪体育大学 教育学研究	第4巻	59頁～77頁	令和2年3月
事例報告	障害理解を深める大学での授業実践—大学生から聴覚障害のある教員への質疑応答を通して—	単 藤原彰子	大阪体育大学 教育学研究	第5巻	41頁～50頁	平成3年3月
事例報告	コロナ禍での高大連携の取り組み—特別支援学校とのオンライン交流の試み—	単 藤原彰子	大阪体育大学 教育学研究	第5巻	51頁～57頁	平成3年3月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内(一般演題)	令和元年8月	ろう教育科学学会	「学ぶことと将来のつながり」を見通した言語活動—高等部段階の生徒への取り組み—	岐阜市文化センター	藤原彰子	
国内(一般演題)	令和元年9月	日本特殊教育学会	インクルーシブ教育システムの成果と課題 多様性を尊重する人権教育の観点から	広島大学	藤原彰子, 後上鐵夫	
国内(一般演題)	令和2年 9月～12月	ろう教育科学学会	当事者の話から学びを深める教職課程を履修する大学生への聴覚障害教育の実践	書面開催	藤原彰子	
国内(一般演題)	令和2年 9月～10月	日本特殊教育学会	学校卒業後の生活に「生きて働く力」を育てる授業づくり—知的障害のある児童生徒の「金銭の扱い」を題材として—	WEB開催	藤原彰子	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
選択			選択			

特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国

### Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成8年4月～	ろう教育科学会委員, 日本特殊教育学会
平成12年4月～	日本言語聴覚士協会
令和2年4月～	日本教育心理学会, 日本発達心理学会, 日本発達障害学会
令和3年4月～	日本COG-TR学会
社会的活動	
平成27年4月～平成31年3月	大阪府立学校人権教育研究会副会長
平成28年4月～平成31年3月	堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センター運営委員
平成30年4月～平成31年3月	近畿教育オーディオロジー研究協議会副会長
令和元年4月～	トワイライト研修会, 特別支援教育 教育講演会 企画・運営
令和元年10月～	大阪府立佐野支援学校高等部生徒 現場実習の受け入れ
令和3年10月～	大阪府立泉南支援学校高等部生徒 現場実習の受け入れ
令和3年11月～	大阪府立岸和田支援学校高等部生徒 校外学習の受け入れ

### Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
令和元年4月～令和2年3月	全学 学生委員会, 障がい学生委員会, 社会貢献センター委員会
令和元年4月～	全学 教職課程委員会
令和3年4月～	全学 センター事業部会, 地域交流部会, ハラスメント相談員
令和3年4月～	教育学部 人事審査会議, 人事委員会, 予算委員会, カリキュラム委員会
令和3年4月～	教育学部 特別支援教育グループ長
令和4年4月～	教育学部 教職課程委員長
特別プロジェクト活動	

### Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない			
5. 合宿指導	年間合宿回数:	回	延べ日数:	日
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択 ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択 ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	選択 ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所	
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)				
開催期間	大会名	成績	場 所	

### Ⅵ 賞罰(職務に関する賞罰)

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考